

弘前市相馬地区の地域おこし協力隊（現役）

鹿内 あかり（しかない あかり） 地域おこし協力隊：平成 29 年 4 月～	
<p>1. 現在の活動内容</p> <p>①芽女倶楽部と連携した農産物加工品の開発</p> <p>週に1回、アップルパイ作りのお手伝いをしています。また着任2年目には相馬りんごを使用した新商品「タルトタタン」を開発しました。</p> <p>②地域の教育・コミュニティに関わる支援</p> <p>相馬地区で暮らす学生や若者を対象に、交流の場づくりや地元愛の定着を図るための様々なイベントを企画・運営しています。</p>	
<p>2. 応募者へのメッセージ（活動開始に向けたアドバイス、活動上の成功例、失敗例、課題、など）</p> <p>ゼミの活動で相馬地区を訪れたことがきっかけで、社会人1年目で協力隊になりました。女性だからこそ、若者だからこそできる活動がここにはあると思います。</p> <p>着任してすぐ芽女倶楽部の方から「一緒に加工品を作らない？」と声をかけていただいたり、相馬が大好きな若者たちと「相馬で夢おこし実行委員会」を作って地元の方が楽しめるイベントを開催したりと、地元の方と協力隊とが一緒になって活動できることに魅力を感じています。</p> <p>ぜひ、私たちと一緒に楽しみながら相馬地区の活性化に取り組みましょう！</p>	
北野 教正（きたの のりまさ） 地域おこし協力隊：平成 29 年 6 月～	
	<p>1. 現在の活動内容</p> <p>相馬が元気と笑顔で溢れますように！着任してこの1年の間、そんな思いで活動してきました。緑豊かな里山、りんご園と岩木山の奏でる風景、降り積もる雪等々、あたりまえのようにある相馬の自然と自分の得意技であるスキー、自転車、ランニング等の運動を掛け合わせ、スポーツ・ツーリズムでこの地を賑やかにしようとしています。新たな試みを地元の方々と一体となってやり遂げる、絆が深まり地域が元気になっていく。微力ながらそのお手伝いをさせていただいてます。</p>
<p>2. 応募者へのメッセージ（活動開始に向けたアドバイス、活動上の成功例、失敗例、課題、など）</p> <p>何をするにしても一人でできることには限りがあるので、仲間を募りチームでやり遂げる。この地にはまだまだ助け合う心が残っているので、相馬を活気づけようとする熱い気持ちさえあれば大歓迎。人気のモツを食べながら、時に人の声に耳を傾け、時に自分の思いを語る。</p> <p>新たな個性の合流でどんな相乗効果が生まれるのか、今から新しい出会いを楽しみにしています。</p> <p>一緒に相馬を盛り上げましょう！</p>	

※相馬地区の地域おこし協力隊については下記 URL を参照

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/chiiikiokoshi-kyouryokutai.html>

弘前市相馬地区の地域おこし協力隊（OB）

下田 翼（しもだ つばさ） 地域おこし協力隊：平成 27 年 5 月～平成 28 年 4 月	
1. 在籍時の活動内容及び現在 【在籍時の活動内容】 ①各種メディアを活用した地域の広報活動 これまでなかった相馬地区の公式サイト開設、弘前市の SNS などを利用した PR 活動など WEB を中心とした PR 活動を展開。また、同期入隊の米山氏の写真を活用したフォトストーリー「相馬 365」の企画を担当。 ②地域の各種団体との交流、地域の行事・コミュニティの支援活動 りんご生産の工程を体験、地区行事（ねぶたなど）の参加を通して地元の人たちと交流を行った。また、東京時代の経験を次世代の子供たちに伝え、故郷・相馬に誇りを持ってもらう講演会の実施なども開催。 【現在】 フリーランスのプランナー及びライターとして引き続き弘前在住、県内企業や行政の企画・制作業務、東京を中心としたライティング業務、PR 動画やミュージック・ビデオなどの映像制作も担当する。平成 30 年度中に法人化予定（株式会社）。	
2. 応募者へのメッセージ（活動開始に向けたアドバイス、活動上の成功例、失敗例、課題、など） 弘前には観光や仕事で何度も来ていましたが、実際に住むとなると勝手がわからず、生活やコミュニケーションに苦労することもありました。その中で相馬の優しい方々にフォローしていただき、楽しく充実したお仕事をさせていただきました。今の自分は相馬での経験が大きく役立っており、日々感謝して仕事に取り組んでいます。色々なことにチャレンジさせてくれる相馬は、協力隊という新しいものを切り開く仕事には最適の場所だと思います。ぜひ、相馬の優しい方々と楽しくやりがいのある取り組みにチャレンジしてください！	
米山 竜一（よねやま りゅういち） 地域おこし協力隊：平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月	
	1. 在籍時の活動内容及び現在 【在籍時の活動内容】 ①地域の魅力を情報発信。得意とする写真を中心に活用。 ②相馬地区住民と連携した地域おこしイベントの企画・運営。 ③冬の弘前の観光コンテンツ「冬に咲くさくらライトアップ」の創出。 【現在】 県紙・東奥日報社で記者。青森市を中心に幅広く取材・記事化。

2. 応募者へのメッセージ（活動開始に向けたアドバイス、活動上の成功例、失敗例、課題、など）

- ①まずは、相馬の人たちと自然な距離で繋がることを目標に、相馬ぐらしを楽しんでください。
- ②相馬地区との交流も盛んな、弘前市街地の人たちとも是非繋がってください。弘前を盛り上げるため、前向きに活動されている方がたくさんいます。活動のヒントも沢山もらえると思います。
- ③あなたが面白いと思うものを見つけたり、やってみたいことへの思いが固まったら、繋がれた方と思いを共有し「やったもの勝ち」と思って具体化を目指してください。
- ④相馬地区や弘前市の人たちへのリスペクトを忘れないように活動してください。私は多くの方々の善意があったからこそ、青森県に残れたと思っています。

※相馬地区の地域おこし協力隊については下記 URL を参照

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/chiikiokoshi-kyouryokutai.html>

頑張る地元相馬人の声

1. 成田 馨（相馬地区地域おこし協力隊活動応援協議会 会長）

メッセージ（地域おこし協力隊に望むこと、応援メッセージ、など）

3年間の任期期間で形ある成果は難しいかもしれない。でも、そこまでの活動や取り組み、熱意を地域へ発信し、伝えることはできます。

新しいモノを作り出すことはやりやすく、古いモノを続けることは難しいと感じていますが、ちょっとした気づきから良い方向に向かっていける可能性があるのが相馬地区だと思っています。

あなたのアイデア・持論を地域にぶつけて、相馬地区で一緒に切磋琢磨していきましょう！



2. 清野 一基（りんご農家）



メッセージ（地域おこし協力隊に望むこと、応援メッセージ、など）

現在の相馬地区の状況は、一世代前の方々の活動の恩恵を受けていると思います。現状に満足し、「このままでいい」と何もしていないでいると、現状維持すら難しく衰退していくと思います。小さな地区でも元気で活発な地区にしていく為にも、自分達の問題は自分達で試行錯誤しながら問題解決していきたいと思っています。協力隊にはぜひそのお手伝いをしてもらいたいです。ぜひ相馬地区に興味を持っていただき、一緒に盛り上げていきましょう！！

3. 藤田 美代子（女性加工品グループ「芽女倶楽部」代表）

メッセージ（地域おこし協力隊に望むこと、応援メッセージ、など）

私は農業をしながら地元のお母さん6人で地元の農産物（りんご・米・野菜）を加工して販売しています。私たちの加工グループに協力隊が加わっています。今年は協力隊員とのコラボで新商品も開発しました。

自然と農産物に恵まれたこの地の、私たちがまだ発見できていない何かを見つけてください！相馬を好きになって、元気な地域にしていきたいです。



4. 吉田 直哉（一般財団法人星と森のロマンТПピア・そうま 支配人）



メッセージ（地域おこし協力隊に望むこと、応援メッセージ、など）

相馬のシンボリック温泉宿施設で、日々、この地域への誘客・地域を生かした商品造成に励んでいます。協力隊の皆さんとはそれぞれの特技（得意分野）を活かしてもらい、いろいろな角度・視点から地域に「人を呼ぶ」活動をコラボしてきました。地域を賑やかにするには、外の人から見た視点、感じ方がとても大切だと思っています。皆さんそれぞれの視点・感性・得意分野を活かし、一緒に相馬を賑やかにしましょう！

5. 山崎 隆穂（相馬エビ等養殖組合）



メッセージ（地域おこし協力隊に望むこと、応援メッセージ、など）
昭和 62 年にエビ養殖生産組合ができてから、りんご農家をしながら
30 年以上相馬地区の温泉水を活用したオニテナガエビ養殖に取り組ん
できました。昔に比べて相馬の子どもたちも自然や生き物に触れる機会
が減ってきているので、養殖場見学や養殖場そばの釣り堀体験などを通
して、子どもたちの成長やおじいちゃんと孫の交流の機会も増やしたい
と思っています。素直な心で相馬地区を楽しめる人、応援しますよ～。